

# 工雲会会報

発行所  
島根県出雲市上塩冶町420  
出雲工業高校工雲会  
編集発行人  
多々納 剛人  
印刷所  
有限会社 伊藤印刷



## 工雲会会長挨拶

会長 多々納 剛人

会員の皆さま、そして関係者の皆さまには日頃より工雲会の運営に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

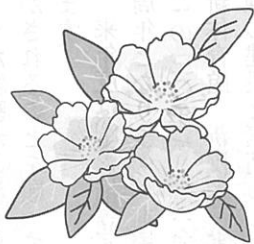
これまで出雲工業高校は地域の基盤を支える多くの専門人材を輩出してまいりました。

現在、私たちが直面している社会の課題は多岐にわたりますが、特に人口減少や地域課題の解決において、工雲会の果たす役割は大きなものとなっております。

工業高校は、地域社会との連携を強化し、地域課題への解決を図り、持続可能な社会の構築に貢献できる人材の育成を図って行く必要があります。今後は、後援会として学生たちが充実した学び舎で、このような将来的な社会の要請に応えるために不可欠である質の高い教育を受け

ることができるようDXの推進やAIの活用など、最新の技術とトレンドに対応し、学生たちに高い専門性を身につけてもらうため、様々な面でサポートを行ってまいりたいと思います。そして、その成果が地域社会にも良い影響をもたらすことを信じています。

最後に、皆さまと共に協力し、出雲工業高校が更なる飛躍を果たすために、工雲会としての連携と協力を心よりお願い申し上げます。ご挨拶といたします。



## ものづくりコンテスト 全国大会を経験して

建築科三年 池田直輝

私は、ものづくりコンテスト中国地区大会（木材加工部門）で島根県勢として初優勝をし、第23回ものづくりコンテスト全国大会（木材加工部門）に出場しました。全国の舞台では、良い緊張感を持って、大会本番に挑むことができました。結果としては、敢闘賞という結果でした。練習の成果を完全に発揮できなかった部分もあり、少し悔しい結果となりました。



りましたが、本番では精一杯頑張ることができて、後悔のない大会となりました。

この大会や練習を通して、木材加工の知識や技術が格段に向上しました。今後は、建築の分野に進学するので、この経験を活かしながらも新たな知識や技術を学びたいと思います。

そして、残された時間では、後輩たちにこの経験や知識や技術を繋いでいきたいと思えます。ご指導いただいた先生方、支えてくれた保護者にはとても感謝しています。ありがとうございました。



## 第二十九回工雲会総会のご案内

期日：令和6年8月24日（土）  
総会17時より  
総会終了後 懇親会開催  
会場：ラピタウェディングパレス

令和6年に工雲会総会の開催を予定しております。

内容等の詳細が決まりましたらホームページ等でお知らせ致します。

第二十九回総会・懇親会は平成九年～平成十四年三月の卒業生の皆さんにお世話になります。

校内事務局 渡部 俊、石飛 秀次、  
刑部 聖  
0853-21-3131

出雲工業高校工雲会  
ページのQRコード  
です。



会報のバックナンバーや住所変更の案内などを掲載しています。ぜひご覧ください。

### ご挨拶

校長 松原紀夫

工雲会員の皆さまには益々ご健勝でご活躍のことと存じます。また、平素より本校の教育活動に格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

この場をお借りして今年度の学校活動および近況をご報告します。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の転換期となりました。マスクの着用や手指消毒などの制約が緩やかにになり、「濃厚接触者」という位置づけもなくなりましたので、本人に発熱等の風邪症状があるかが欠席および受診を勧める判断と なっています。今年度、本校では新型コロナウイルス感染症による感染拡大はありませんでしたが、インフルエンザの流行で学級閉鎖を余儀なくされ、十月には一年生一クラス、十一月三年生一クラスと二年生一クラス、十二月には青雲寮を閉鎖しました。今後とも感染症流行の兆しがあれば、マスクの着用を呼びかけ、教室の換気など基本的な感染症

対策を心掛け、教育活動を止めないよう努めたいと考えております。

今年度の学校行事は、校内の感染状況を鑑みながらできる限り計画通りに行うことができました。二年生の県外企業見学については、令和二年度中止、令和三年度県内遠足に変更、令和四年度一泊二日中国地区で実施と、コロナ禍で生徒に有意義な経験をさせてあげられませんでした。また、四年ぶりに計画通り二泊三日で関西方面へ行くことができました。

二年生のインターンシップも五十九社のご協力を得て三日間行うことができました。また、これまで九月下旬に行ってきた工雲祭を今年十月十一日〜十三日で行いました。文化祭の模擬店も販売時間を分ける工夫などを行い、混雑を避け開催することができ、生徒たちが目的の商品を笑顔で買い求めている姿を見て感動しました。

部活動では、自転車競技部、アーチェリー部、空手道部、ものづくり部（木材加工、ロボット競技）、放送部が全国で活躍してくれました。全

国大会という大舞台に立った経験がこれから生かされることを願っています。

来年度は、本校創立八〇周年となります。本校は、この三〇年で工雲会館新体育館、新校舎・実習棟の建設と素晴らしい教育環境を整えていただいております。現在、周年事業に向けて実行委員会を立ち上げ、実行委員長を多々納剛人工雲会会長にお引き受けいただいております。節目の年に本校生徒の今後にかける事業となればと考えております。

学校ホームページも昨年末にリニューアルしました。閲覧側の端末に合わせて、縦長、横長に表示できるようにいたしますので、ぜひご覧ください。

利用者別メニューの「卒業生の皆さまへ」を選んでいただきますと、工雲会のページがあり、本会報のバックナンバーを見ることが出来ます。

最後に、会員の皆さまの益々のご活躍と工雲会のご隆盛をお祈りするとともに、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶と

### 令和5年度の進路状況について

進路指導部長 勝部寛明

工雲会の皆さまには、平素より出雲工業高校の教育へのご理解と、進路活動へのご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、求人への動向が懸念されていましたが、ここ数年の傾向通り今年度も有効求人倍率が増加するという結果となりました。今年度の高卒新卒の求人倍率（全国）は約3.3倍となっております。

バブル期並みの超売り手市場です。最大の要因は少子化にあると考えられますが、大卒の求人倍率が横ばいであることを踏まえると、大学や専門学校へ進学する高校生が増えたということも原因とされていると考えています。このような状況の中、専門学校である本校には、その高い専門性を求め、今年度も県内外から多くの求人が届きました。県内271社（求人482名）、県外918社（同1546名）が12月末までの数字です。一社から複数の職種の求人があることが昨

年から続いている傾向となっております。本校3年生の就職希望者数から計算すると県内の求人倍率は約8.5倍、県外は90.9倍となりました。全体でも27.4倍という高倍率です。これは卒業生の皆さまが県内外において活躍され、作り上げてこられた信頼という名の伝統、そして専門的な知識と技術を身に付けることができる実践重視の本校の教育内容への地域の方々からの期待の表れだと考えています。今後も出雲工業高校という付加価値を活かした進路指導を行っていかうと考えております。

#### 《R5年度 就職状況》

今年度は、79名の生徒が就職を希望しました。公務員も含め、売り手市場ではありましたが、全員が11月までに内定、合格をいただくことができました。売り手市場の中で、生徒たちにとってより良い選択ができるように企業見学や企業説明会などの進路活動を充実させていこうと思っております。

#### 《R5年度 進学状況》

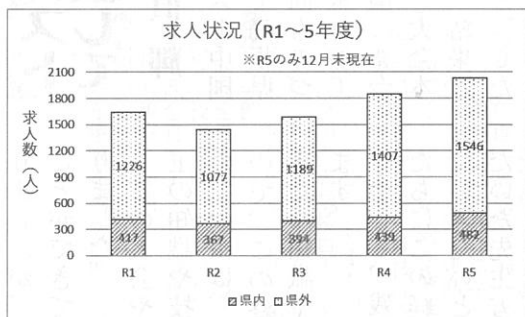
現在およそ3割の生徒が進学を希望しています。多くの生徒が工学系の進路を選択し、合格を勝ち取っています。進学を希望する生徒は増加する傾向にありますが、県内には上級学校はそれほど多くはありません。どこに進学しても、いずれは県内企業に就職してもらえるように地元企業の紹介を続けていこうと思っております。

今年度も多くの生徒が工雲会に入会いたします。今後とも在校生ともども温かいご指導を賜りますようお願いいたします。

3年生進路状況（令和5年12月末現在）

科	在籍	就職				その他未定	進学			
		県内	県外	公務員	計		大学	短大 高専	各種 学校	計
機械	30	18	1	2	21	0	2	0	7	9
建築	36	17	7	2	26	0	3	1	6	10
電機	30	17	8	0	25	0	3	0	2	5
電子機械	21	5	1	1	7	3	6	0	5	11
計	117	57	17	5	79	3	14	1	20	35
%		72.2%	21.5%	6.3%	67.5%	2.6%	40.0%	2.9%	57.1%	29.9%

求人状況(R1-R5)





### 弓道部



弓道部は男子20名、女子6名の計26名で活動をしています。私たちはとても仲が良く、皆で声を掛け合っており、お互いを教え合い切磋琢磨して弓を引いています。令和5年度の新人戦では男子個人で1位・2位、選手権大会では男子団体戦で3位に入賞し、中国大会に出場しました。中国大会の結果は予選敗退という悔しい結果で終わりました。今後の目標は、出雲工業の名を弓道で全国に知らしめることです。

### サッカー部

サッカー部は蒼園伝(そうとうでん)というチームテーマを掲げ、日々の活動に取り組んでいます。公式3大会すべてベスト4以上を目標に今現在活動しています。

また日々の練習だけでなく、月に1回小学生を招いて高校生がサッカーを教えるサッカースクールも開催しています。サッカーを通じて人として成長できる部活、地域貢献できる部活を目指し頑張っていますので、今後ともサッカー部の応援をよろしく願います。

SNS(Instagram・Facebook)で活動報告をしていますので、ご覧ください。



### ソフトテニス部

ソフトテニス部は十七名で活動しています。現在の目標は、県総体団体優勝です。目標を達成するために何をすべきかを、毎日の練習で生徒自身が考え、活気ある雰囲気の中で活動しています。部員の特徴はとにかく仲が良いことです。ですが、コートに立つたら違います。仲間であり、ライバルとして切磋琢磨できる関係でもあります。インターハイ団体出場に向けて頑張りますので、応援よろしく願います。



### 硬式野球部

令和5年度は部員31名で活動しています。2023年の夏の大会はベスト16(3回戦)と目標にしている甲子園出場に届きませんでした。出雲工業野球部らしいチーム一丸の闘いを見せてくれました。野球以外にも災害ボランティアや子ども野球教室の開催など幅広く活動しており、たくさんのご縁を感じられた一年となりました。



2023年8月  
大社町災害ボランティア



### 吹奏楽部



吹奏楽部は現在8名で活動しています。今年度は校内での演奏に加え、吹奏楽コンクールとアンサンブルコンテストに出場しました。人数は少ないですが、それぞれが良い距離間で関係を持ち、穏やかな雰囲気の中で活動しています。今後は卒業式に向けて、3年生を素敵な演奏で送ることができるよう、練習を重ねていきます。皆さんに応援してもらえよう、これからも練習に取り組んでいきますので、どうぞよろしく願います。

# ご挨拶 校長 松原紀夫

工雲会員の皆さまには益々ご健勝でご活躍のことと存じます。また、平素より本校の教育活動に格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

この場をお借りして今年度の学校活動および近況をご報告します。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の転換期となりました。マスクの着用や手指消毒などの制約が緩やかになり、「濃厚接触者」という位置づけもなくなりましたので、本人に発熱等の風邪症状があるかが欠席および受診を勧める判断となつていきます。今年度本校では新型コロナウイルス感染症による感染拡大はありませんでしたが、インフルエンザの流行で学級閉鎖を余儀なくされ、十月には一年生一クラス、十一月は三年生一クラスと二年生一クラス、十二月には青雲寮を閉鎖しました。今後も感染症流行の兆しがあれば、マスクの着用を呼びかけ、教室の換気など基本的な感染症

対策を心掛け、教育活動を止めないよう努めたいと考えております。

今年度の学校行事は、校内の感染状況を鑑みながらできる限り計画通りに行うことができました。二年生の県外企業見学については、令和二年度中止、令和三年度県内遠足に変更、令和四年度一泊二日中国地区で実施と、コロナ禍で生徒に有意義な経験をさせてあげられませんでした。が、四年ぶりに計画通り二泊三日で関西方面へ行くことができました。二年生のインターンシップも五十九社のご協力を得て三日間行うことができました。また、これまで九月下旬に行ってきた工雲祭を今年十月十一日〜十三日で行いました。文化祭の模擬店も販売時間を分ける工夫などを行い、混雑を避け開催することができ、生徒たちが目的の商品を笑顔で買い求めている姿を見て感動しました。

部活動では、自転車競技部、アーチェリー部、空手道部、ものづくり部（木材加工、ロボット競技）、放送部が全国で活躍してくれました。全国大会という大舞台に立った経験がこれから生かされることを願っています。

来年度は、本校創立八〇周年となります。本校はこの三〇年で工雲会館、新体育館、新校舎・実習棟の建設と素晴らしい教育環境を整えていただいております。現在、周年事業に向けて実行委員会を立ち上げ、実行委員長を多々納剛人工雲会会長にお引き受けいただいております。節目の年に本校生徒の今後に活かせる事業となればと考えております。

## 令和5年度の進路状況について 進路指導部長 勝部寛明

工雲会の皆さまには、平素より出雲工業高校の教育へのご理解と、進路活動へのご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、求人への動向が懸念されていましたが、ここ数年の傾向通り今年度も有効求人倍率が増加するという結果となりました。今年度の高卒新卒の求人倍率（全国）は約3.3倍となっております。

バブル期並みの超売り手市場です。最大の要因は少子化にあると考えられますが、大卒の求人倍率が横ばいであることを踏まえると、大学や専門学校へ進学する高校生が増えたということも原因としてあると考えています。このような状況の中、専門学校である本校には、その高い専門性を求め、今年度も県内外から多くの求人が届きました。県内271社（求人482名）、県外918社（同1546名）が12月末までの数字です。一社から複数の職種の求人があることが昨

年から続いている傾向となっております。本校3年生の就職希望者数から計算すると県内の求人倍率は約8.5倍、県外は90.9倍となりました。全体でも27.4倍という高倍率です。これは卒業生の皆さまが県内外において活躍され、作り上げてこられた信頼という名の伝統、そして専門的な知識と技術を身に付けることができる実践重視の本校の教育内容への地域の方々からの期待の表れだと考えています。今後も出雲工業高校という付加価値を活かした進路指導を行っていかうと考えております。

### 《R5年度 就職状況》

今年度は、79名の生徒が就職を希望しました。公務員も含め、売り手市場ではありましたが、全員が11月までに内定、合格をいただくことができました。売り手市場の中で、生徒たちにとってより良い選択ができるように企業見学や企業説明会などの進路活動を充実させていこうと思っております。

### 《R5年度 進学状況》

現在およそ3割の生徒が進学を希望しています。多くの生徒が工学系の進路を選択し、合格を勝ち取っています。進学を希望する生徒は増加する傾向にありますが、県内には上級学校はそれほど多くはありません。どこに進学しても、いずれは県内企業に就職してもらえるように地元企業の紹介を続けていこうと思

います。今年度も多くの生徒が工雲会に入会いたします。今後とも在校生ともども温かいご指導を賜りますようお願いいたします。

3年生進路状況（令和5年12月末現在）

科	在籍	就職				その他未定	進学			
		県内	県外	公務員	計		大学	短大 高専	各種 学校	計
機械	30	18	1	2	21	0	2	0	7	9
建築	36	17	7	2	26	0	3	1	6	10
電機	30	17	8	0	25	0	3	0	2	5
電子機械	21	5	1	1	7	3	6	0	5	11
計	117	57	17	5	79	3	14	1	20	35
%		72.2%	21.5%	6.3%	67.5%	2.6%	40.0%	2.9%	57.1%	29.9%

求人状況(R1-R5)

